

報道関係者の皆様へ

2007年7月吉日

変わらない心と、あたらしい心

和菓子とともに、日本の魅力を伝える

とらや東京ミッドタウン店ギャラリー 第3回企画展

うるし展 ~いつものうるし~

<2007年9月1日~11月15日>

とらや東京ミッドタウン店のギャラリーにて、第3回企画展を催します。テーマは「うるし」。輪島でうるしの創作活動や、うるしを生活に取り入れる提案をされている桐本泰一氏にご協力いただきます。木地作りから塗りまでの工程や技法に加え、暮らしの中にうるしを取り入れる工夫などをご紹介します。

◎ ‘うるし’を知ろう、‘うるし’に触れよう

漆器は傷つきやすいし、扱いやお手入れが大変そう…。そう思われていませんか？実は、うるしは乾燥が苦手。毎日のように「使って、洗って」水分を補うことが何よりのお手入れなのです。イメージだけで縁遠くなってしまっているうるしについて、まずは知って、触れてみてください。

ひとつの椀ができあがるまでの23工程を展示します。表面のうるしの下にひそんでいる、丁寧な仕事とその意味、そこに息づく職人の想いをご覧ください。

◎ 暮らしの中にうるしを

熱いもの、冷たいもの、漆器は盛るものを選びません。食器として以外にも、赤ちゃんの歯がためとしてうるしのスプーンを与えたり、床や家具に使ったりと、様々な用途があることをご紹介します。

また、長く使い込むほど独特の風合いが出てくるのもうるしの魅力の一つです。昔の人々は、少々傷が付いても、こわれても修理をして大切に使い続けたそうです。しっかり丈夫に作られているからこそ、修理もできるというもの。うるしが環境にも優しい暮らしの知恵であったといえます。「うるし展」にちなみ、実際に100年前から使われていた器と、今の器を使い比べていただく企画を後期に予定しています。

◎ うるし商品の販売

桐本氏の作品を販売します。器はもとより、子供用の品や、現代人のライフスタイルや感性の中でも取り入れられるスタイリッシュなトレイや名刺入れなどを取り扱います。

また、今回の企画展のために作っていただいた新作の菓子切りも登場します。秋の風情を感じさせる3色(拭きうるし仕上げ:黒、弁柄、生うるし(黄))の菓子切りは、栗蒸羊羹など秋のお菓子にしっかりとなじみます。

<展示情報>

場 所: とらや東京ミッドタウン店内 ギャラリー
会 期: [前期] 2007年9月1日(土)~10月15日(月):「うるしを知ろう、うるしに触れよう」
[後期] 2007年10月16日(火)~11月15日(木):「暮らしの中にうるしを」
※会期と内容は予定です
時 間: 11:00~21:00 (店舗営業時間と同じ)
※無休(東京ミッドタウン休業日に準じます)
住 所: 東京都港区赤坂9丁目7番4号 東京ミッドタウン ガレリア B1F 電話:03-5413-3541

